

お客様各位

海開き、山開きを迎え本格的な夏の到来となりました。

子供の頃に待ち遠しかった夏。大人になった皆さんにとって現在の夏はどう感じますか。

夏バテが頭をよぎることはありませんか。

夏バテ対策には色々な方法がありますが、まずは生活バランスを整え気力を養うことが肝要です。

就寝と起床時間を崩さない。食事をしっかり摂る。「当り前のことを当り前にやる」これが第一の夏バテ対策となります。

仕事に置き換えても同じことが言えるのではないのでしょうか。

突然のアクシデント、または大きなチャンス。これらへの対応策もやはり「当り前のことを当り前にやる」です。

このフレーズは、まさに当り前で簡単そうに思えるかも知れませんが、実は実行が意外と難しいのですね。

この夏は「当り前のことを当り前にやる」を一つの目標として掲げてみてはいかがでしょうか。



須黒会計インフォメーション

平成 24 年 7 月号



I | N | D | E | X |
└ ┘ └ ┘ └ ┘ └ ┘ └ ┘

1. 【経営情報】 [コストを考える](#)
2. 【会計税務】 [相続税廃止の世界の潮目と日本の選択](#)
3. 【ヒント・ヒント】 [ポーツと](#)
4. 【お役立ち情報】 [経営体力診断のご提案](#)



1. 【経営情報】 [コストを考える](#)



【コストを考える】

経営者の方々は、厳しい社会情勢の中、売上が低迷し、尚且つ利益が薄くなり、コストの見直しや削減にと大変なご苦労をされていることと思います。

今回は、コストに関して、もう一步踏み込んで考えてみましょう。

コストとは何でしょう？

“経営の神様”ドラッカーの「活動基準原価計算」をご存じでしょうか？

そこで彼は、コストを売上原価や人件費などのプロセスごとに切り離して考えるのではなく、企業活動における一連の経済連鎖で生じるすべての費用は原価として考えることが大切である、ビジネスプロセス全体を通して考えなければ、本当に必要なコストなのか不必要なコストなのかを認識することはできない、と言っています。

例えば、美容室にお客様が来店し、髪をカットしてお金を頂くまでのプロセスには、どのくらいのコストがかかっているのでしょうか。

お客様を迎えるために、お店を造作し家賃を払っています。

お客様に知って頂くために、広告宣伝費をかけ、気持ちよく来店していただくために掃除をする。掃除にも掃除道具代や人件費がかかります。

カットするにはハサミが、シャンプーにはシャンプー剤や水道代が、セットにはドライヤーに電気代を必要とします。当然、スタイリストやアシスタントの人件費がかかります。

従業員が出勤するための交通費や社会保険もかかります。

「すべての仕事にはコストが掛かっている」ということ。

言い換えると、「会社の内部はすべてコストの塊である」ということです。

そして、このコストに付加価値（利益）を付けて負担してくれるのはお客様です。

お客様は満足と引きかえに、そのすべてのコストを負担してくれるのです。

お客様が満足しなければ、負担してくれません。もう二度とこなくなります。

だからこそ、もう一度すべての活動プロセスにおけるコストを計算してみてください。

その中から価値を生まない活動コストがどのくらい含まれているのか、本当のムダムラを、お金、時間、業務を軸に発見し見直し改善することです。

お客様のために本当に必要なコストなのか？

それが、利益を生むことに繋がっていきます。

次に、社員にコストの意識付けをしているかどうかです。

経費節減と言いながら、見えるところばかりを意識させていませんか。

目に見えるところも大切ですが、目に見えないところ、つまり無意識のコストを意識することが利益を生み出すことに繋がるのです。

直接的に利益を生まない活動にもコストはかかっていることを認識したうえで、常に利益を生み出す活動に意識的にシフトすることを伝えてください。

特に時間の使い方です。

“時は金なり”と言います。

スピードアップや効率化によって作った時間は、お金と一緒にです。

各部門、各個人を切り離して考えるのではなく、会社全体の部門間及び個人間の業務や役割をお互いに理解した上で、ムダムラを発見し、改善していくことです。

このことを理解し、実践できる人が、“仕事ができる人”になっていくのでしょう。



2. 【会計税務】 **相続税廃止の世界の潮目と日本の選択**



相続税は、多くの国で廃止に向かっていました。スウェーデン、スイス、オーストリア、イタリア、ニュージーランド、オーストラリア、等々です。個人課税の重い国から軽い国に移住する富裕層囲い込みを目的にした租税戦略として相続税の廃止が考えられていた面もあります。

しかし、いまや近代をリードしてきた欧米先進国は歴史的な金融財政危機の渦中にあり、富裕層自身の中から富裕層への課税強化の必要が唱えられるようになりました。

富裕層課税強化では、スペインが富裕税を復活したというニュースがあり、サルコジ大統領が富裕税廃止を唱えていたフランスでも廃止はなさそうで、これからは富裕税強化の時代なのかもしれません。しかし、富裕層への課税の最も一般的な定番は相続税です。

世界的に見て、相続税廃止の流れの潮目は変わっています。2010年にアメリカでは一時的に相続税が廃止されましたが、翌年から復活しています。カナダでは、相続税がないものの、財産移転時には所得税を課していますので、相続財産への実質的な課税は存在しています。フランスのサルコジ大統領は相続税の廃止も唱えていましたが、今回落選しています。中国本土での相続税は、実施しても執行の困難さが大きいとして制度化が見送られています。貧富の差を解消するために相続税を実施することに賛成する意見が根強いようです。

日本の選択も、歴史的には、相続税の課税を軽減する流れの中にありましたが、ここに来て大きく方向転換しようとしています。平成23年度の税制改正案で実現できなかった、相続税の基礎控除を低くして課

※このメールマガジンは、須黒税務会計事務所及び株式会社リードコンサルトを通して、
お客様からのご紹介によりお届けさせていただいております。

万一送信を希望されない場合、末尾のメールアドレス宛てに送信中止の手続きをお願いいたします。

※このメールに他のウェブサイトへのリンクが含まれている場合にも、
須黒税務会計事務所及び株式会社リードコンサルトはリンク先のページについて一切責任を負
いかねます。

////////////////////////////////////

須黒税務会計事務所

株式会社リードコンサルト

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-14-16

銀座アビタシオン 701・1004

TEL : 03-3542-9755 FAX : 03-3546-1788

E-MAIL : suguro-kaikei@sweet.ocn.ne.jp

URL : <http://www.suguro-tax.jp>

URL : <http://www.suguro-lead.com>

////////////////////////////////////